

## 部活動の地域移行 8月より試行運用

中学校部活動の地域移行について説明を受けた。

### 【試験運用】

地域内の団体による受け入れ態勢が整った4種目について、試行運用として休日の活動を行っていく。

①種目 柔道・剣道・サッカー・水泳

②受入団体 既存のスポーツ少年団や総合型スポーツクラブを『白鷹Jrクラブ(仮称)』とし、事務局を教育委員会に置く。

③試行期間 8月末～12月末(4か月間)  
 ・4種目以外の休日の活動は、今までどおり学校の部活動となる。  
 ・4種目以外の部活動も受け入れ態勢が整った種目から移行する。  
 ・町内に受け皿となる

団体が無い種目は、広域的な環境整備を検討する。  
 ・期間中は、スポーツ庁の委託金より指導者に謝金ができる。

### 質疑

#### 受け皿のない部活動

【委員】受け皿となり得る団体が無い部活動はどれくらいか。

【当局】休日の活動が難しい部も含め4種目ほどある。

#### 教員の指導

【委員】地域クラブで教員が指導する際は無償になるのか。

【当局】教員の活動は可能であり、兼職・兼業として取り組むような制度になっていくと思われる。



#### 事故の際の責任

【委員】事故が発生した場合の責任の所在はどこか。

【当局】クラブの責任になる。保険や研修等適切な対応が必要になる。

### 【組織設立について】

令和6年3月19日に地域人材ベースキャンプの運営組織である「したらかマルチワーク事業協同組合」が設立された。組合員は17事業者。

### 【マルチワーカーの募集について】

初年度2名のマルチワーカー雇用に向け、関連するウェブサイトを活用し、採用活動を実施している。

3月28日にオンライン説明会を実施。約40人が参加。その後9人とオンライン面談を実施し、うち1人が体験ツアーに参加した。マルチワーカーの働き方や地方移住に対し、

マルチワーカーの採用にはまだ至らず  
 地域人材ベースキャンプ設立事業について説明を受けた。

一定のニーズを確認できたが、採用には至っていない。

### 質疑

#### 町民の理解

【委員】採用には町民の理解を深めるのも重要ではないか。

【当局】第一は移住を伴った方を指すが、町民を排除するものではないし、他市町村の事例もある。

#### 参加者からの声

【委員】参加者の声はどのようなものがあるか。

【当局】ツアーに対する反応は良かったが、給与面で折り合いがつかなかった。給与を上げれば組合員の利用率の引き上げにもつながる

### マルチワークとは

一年もしくは一週間や一日のなかで、複数の仕事を掛け持ちすること



てしまうため、今後検討していく必要がある。

その他  
 ○白鷹町誕生70周年記念事業について  
 等、説明があった。